

大型クラゲ情報

太平洋北部・南部の定置網でまとまった出現が続く

(1) 県内の出現状況 (水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、9月24日現在)

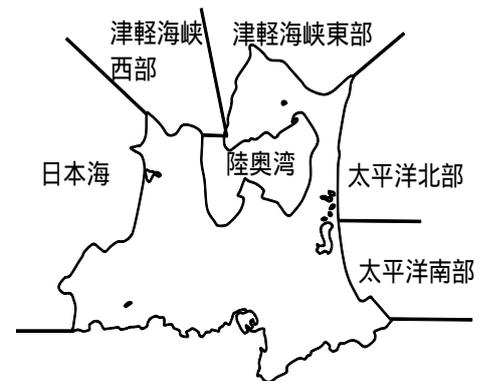
- ・ 県内各海域の出現状況は下表のとおり。
- ・ 太平洋は北部、南部ともに定置網で1,000個を超える入網が続いています。太平洋北部では、潮流の関係で数日間網起こしができず、大型クラゲの入網が原因と思われる漁具破損が発生しています。一部漁業者では、漁業被害を軽減するため、網口を解放する対策を講じています。
- ・ 日本海でも日によっては定置網に1,000個の入網があり、今後もまとまった出現が続くものと思われます。
- ・ 津軽海峡東部及び陸奥湾では数個から300個の入網が続いています。
- ・ サイズ(傘径)は津軽海峡東部で150cmを超える個体が出現しています。太平洋北部及び津軽海峡東部で30cm～150cm超と大小混在しており、その他の海域では50cm～100cmが主体となっています。

表 大型クラゲの出現状況 (定置網等の1ヶ所あたりの入網数)

日/海域	日本海	陸奥湾	海峡東部	太平洋北部	太平洋南部
9月17日	1～1,000	100	52～97	1,000以上	2～300
9月18日	2～500	-	5～300	1,000以上	1～1,000以上
9月19日	50	-	-	-	1～1,000以上
9月20日	1～50	-	-	1,000以上	150～1,000以上
9月21日	2	-	-	1,000	4
9月22日	1～600	-	41～80	1,000	150～1,000以上
9月23日	15～1,000	-	30～350	100以上	1,000以上
9月24日	50～600	-	-	800～1,000以上	1～1,000以上

その他

・ 沖合底びき網：十三・車力沖 9/18,20,23、1～3個入網/日



(2) 全国の出現状況 (漁業情報サービスセンター (JAFIC) 調べ、9月24日現在)

- ・ 若狭湾周辺の定置網に1,000個を超える入網が依然として続いています。
- ・ 佐渡島でも定置網に1,000個を超える入網が始まり、西日本の島根・鳥取でもまとまった出現となる等、日本海は全域でまとまった出現となっています。
- ・ 太平洋では岩手県久慈の定置網で1,000個を超える入網がありました。

(3) 駆除の状況 (青森県定置漁業協会、JAFIC発表、9月24日現在)

- ・ 六ヶ所村、深浦町、三沢市の定置網では、9月17日から24日の間、大型クラゲによる漁業被害を軽減するための駆除を実施しております。今後は各地の定置網の他、県漁連及び漁業関係者による底建網の洋上駆除も予定されています。

県内の定置網等で実施されている対策を事例集としてまとめました (9月11日更新)

URL : http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/suisan_kuragetodo.html (「青森県 クラゲ」で検索を！)